

大切なご家族のため、また何より、ご自身の人生を充実させるため、お役に立てる情報をお届けいたします。終活・相続に詳しい豊前の弁護士といえば西村だ！と思い出していただけよう頑張ります！

目次

- P1 ◆プライベートのひとこま
- P2 ◆レビュー
- P3 ◆終活に関する名言・格言いろいろ
- P4 ◆エンディングノートおためしワーク
- P5 ◆終活お話会について
- P6 ◆お知らせ&豆知識



プライベートのひとこま

11月になりましたね。早いもので、もう年末が見えてきました。10月は、豊前市のカラス天狗祭りに行ってまいりました。所属しているロータリークラブの活動で、募金活動も行い、みなさまの温かい心に触れる機会をいただきました。

今年は、豊前市市制70周年。それを記念して、とても大きな「くす玉」を制作なさったそうです。(写真)

クレーン車で持ち上げる姿は圧巻。雨が降ってきて気温が下がってきていましたが、その場を離れる人はほとんどおられませんでした。

中には風船が入っていて、それと引き換えにお菓子がもらえるのだとか。もちろん息子たちは大喜びでキャッチしに行きました。

活気あふれる豊前の姿をみることで、本当に嬉しく思います。いくらリモートワークが普及してきたとはいえ、まだまだ人やモノは都市部に集まる傾向は根強くあります。地方の素晴らしさを体験しながら、多くの方に広めていきたいです。



レビュー【DIE WITH ZERO】

2020年の出版以後、大きな話題となった一冊です。みなさまも、タイトルを耳にしたことがあるのではと思います。

なかなか強めのタイトルと帯で、ちょっとびっくりしますね。ただ、中身はシンプルに「お金を使い切りましょう！」と主張しているものではありません。

ところで、みなさまは何によって喜びを感じますか？

- ・安定した生活を送ること
- ・誰かの役に立つこと
- ・欲しいものを手に入れること
- ・色々な体験にチャレンジすること



などなど。

では、今それをしてしていますか？していないならなぜでしょうか。だって人生、いつ何があるか分かりませんよね…。

本書は、お金を「ライフエネルギーを表すもの」として捉えています。つまり、「人が何かをするために費やすエネルギー」のこと。

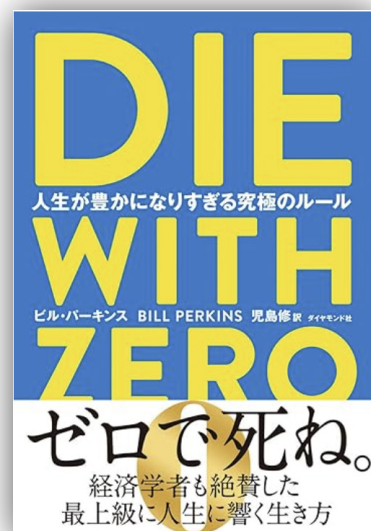
たとえばお給料は、それを稼ぐために費やしたライフエネルギーの量を表していて、金額は関係ないそうです。時給が1000円でも2000円でも、それを使うことは1時間分のライフエネルギーを使ったことになります。

その考え方をもとに、作者のビル・パーキンスさんはこう考えたそうです。「ダメだ、このシャツを買うために2時間も働けない！」と。

いかがでしょうか。つい、その場の値段を決め手に買い物をする方にとっては、かなり大きな価値観の変化になりますね。

他にも本書には、長生きすることの準備についても書かれています。

人生とは切り離せないお金。これからどう付き合うかのヒントをくれる一冊です。



終活に関する名言・格言いろいろ

吉田松陰（1830年9月20日～1859年11月21日）

松下村塾で有名な、幕末の志士。わずか29年の生涯を、熱い志と共に生き抜いた方です。

議会などで、「〇〇君」という呼び方を耳にしますが、これは敬称であり、吉田松陰が弟子たちを呼ぶときに使っていたのだそうです。それを、教え子である伊藤博文や山形有朋が受け継いだとか。今回は、そんな吉田松陰が残した言葉に触れてまいりましょう。

教えるの語源は「愛しむ」。誰にも得手不手がある、絶対に人を見捨てるようなことをしてはいけない。

学問とは、人間はいかに生きていくべきかを、学ぶものだ。



世の中には

体は生きているが、心が死んでいる者がいる。

反対に、体が滅んでも、魂が残っている者もいる。

心が死んでしまえば生きていても、仕方がない。

魂が残っていれば、たとえ体が滅んでも意味がある。

どんな人間でも、

一つや二つは素晴らしい能力を持っているのである。

その素晴らしいところを大切に育てていけば、

一人前の人間になる。

これこそが人を大切にするうえで、最も大事なことだ。



かの有名な松下村塾は、開塾からわずか2年で吉田松陰が逝去しています。それでも多くの弟子に志を伝え、その弟子たちが後世に語り継いでいるということは、本当に良い学びの場だったのですね。

人を大切にすること、志を抱いて努力をすること…今一度私たちも心に刻んでまいります。

エンディングノートの意義と活用術

毎月開催している「終活お話し会」では、エンディングノートの1ページを一緒に書きましょう！というワークを行っています。

最近は書店でも様々なエンディングノートが並んでいますが、やはり一冊まるまる書き上げるのはなかなかの労力が要ります。

そこで、1ページずつ一緒に出会っていくことで、ひとつひとつの視点ごとに人生と向き合っていく機会になるのでは、という趣旨です。エンディングノートは、ただ「書く」だけではなく、「思い出す」ことも必要なので、なかなか時間もかかるのですよね。

よろしければ、ここで少し書き込んでみませんか？

テーマは、「これまでの旅とこれからの旅」です (*^^*)



〈旅の思い出〉

◆行き先：_____

思い出：_____

◆行き先：_____

思い出：_____

〈これから行きたい場所〉

◆行き先：_____

理由：_____

◆行き先：_____

理由：_____

ありがとうございました！

いつもと違う場所に行くということは、大切な「いつも」を思い出すチャンスでもありますね。お気をつけて、いってらっしゃいませ！



終活お話会

あたたかい雰囲気の中、毎回異なるテーマで終活と向き合っていきます。

終活は、人生のはなし。

元気な今だからこそ、人生を振り返って、そのうえで今からをどう生きるか。

私たちと一緒に、お話ししませんか。

お話会での学びや、参加者様どうしのご縁の中で、あらたな気づきがあるかもしれません。

ぜひ、大切なご家族やお友達とご一緒に、お気軽にお越しください！

毎月開催いたしますので、今回は日程が合わないという場合も、次回のご参加を心よりお待ちしております。



次回の終活お話会は…

- テーマ：一度は聞いておきたい！相続登記のこと
上毛町でご活躍中の司法書士、祐徳伊代先生にお越しいただきます！
- ミニセミナーテーマ：リクエストにお答えします！
弁護士に直接質問ができるチャンスです！些細なことでもお尋ねください♪
- エンディングノートを書いてみるワーク
毎回1ページずつ、一緒に書いてみましょう！

- ・11月11日（火）14:00～16:00
- ・豊前市総合福祉センター 視聴覚室
- ・ご参加無料 / ご予約不要



※お車は、ヤルディ豊前の前か、総合福祉センター裏へお停めくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ：080-3948-9102（西村愛）

お知らせ & 豆知識

ついに、所長弁護士：西村幸太郎がテレビ出演をいたしました！ TOKYO MX というテレビ局の番組です。QR コードから出演回をご覧くださいませので、ぜひアクセスをお願いいたします。

実は、このときご一緒した阿部華也子さんのサインをいただきましたので、相談室に飾っております。ちなみに阿部さんは、大分県のご出身だそうです。番組内では、終活お話会のことも話しております、お楽しみに！



終活の豆知識～検認とは？～

自筆証書遺言について調べると、必ずでてくる「検認」。

検認は、裁判所へ申し立てる手続きの一つです。

- ◆目的：①相続人に対し遺言の存在及びその内容を知らせること
②遺言書の偽造・変造を防止すること



※遺言の有効・無効を判断する手続ではありません。

- ◆申立先：遺言者の最後の住所地の家庭裁判所

- ◆必要書類：①申立書 ②遺言者の出生時～死亡時すべての戸籍謄本
③相続人全員の戸籍謄本 など（状況に応じて追加）

◆終わったら？：検認済証明書を取得できる（印紙代 150 円、要印鑑）
ちなみに、法務局で保管していた自筆証書遺言であれば、検認の必要がありません。詳しくは、弁護士まで！

相続専門ホームページ



終活ホームページ



発行元：豊前総合法律事務所 〒828-0028 福岡県豊前市青豊 19-14 スペース1

TEL：0979-53-9106 FAX：0979-53-9107